

「本質的に、私たちの主のメッセージは『ご自身』でした。主は単に福音を語るために来られたのではなく、主ご自身がその福音だったのです。主は単にパンを与えるために来られたのではなく、「わたしがいのちのパンである」と言われました。単に光を照らすために来られたのではなく、「わたしが世の光である」と言われました。単に門を示すために来られたのではなく、「わたしが門である」と言われました。単に羊飼いを明かすために来られたのではなく、「わたしが羊飼いです」と言われました。主は単に道を指し示すために来られたのではなく、「わたしが道であり、真理であり、いのちである」と言われたのです。」(J. シドロー・バクスター)

○だれでも渴いているなら：救い主の招きと人々の応答

1. 救い主の招き(37-39)

※詩篇 113:1

「ハレルヤ。…主の御名をほめたたえよ。」

※詩篇 117:1

「すべての国々よ。主をほめたたえよ。」

※詩篇 118:1

「主に感謝せよ。主はまことにいつくしみ深い。その恵みはとこしえまで。」

▶「大声で言われた」

※マタイ 11:28

「すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。」

「キリストの元に来るときに注がれるこの水は、あなたの内にとどまっているだけではありません。あなたはバケツではありません。貯水池でもありません。それはあなたを流れていきます。あなたは泉となり、やがて川になるのです。」(ジョン・マッカーサー)

2. 人々の応答(40-52)

1) _____(40-41a)

※申命記 18:18

「わたしは彼らの同胞のうちから、彼らのためにあなたのようなひとりの預言者を起こそう。わたしは彼の口にわたしのことばを授けよう。彼は、わたしが命じることをみな、彼らに告げる。」

2) _____(41b-44)

3) _____(45-49)

4) _____(50-52)